

# 雪まるかじりツアー ～本格かまくら作りコース～

1月4日(月) ～ 1月6日(水)

IN 兵庫県立兔野高原教育センター

	午前	午後	夜
1日目	施設向け出発	レクリエーション大会	設計図づくり
2日目	かまくら作り	かまくら作り	七輪パーティー
3日目	清掃、交流会	施設を出発・解散	

一日目： 新年あけましておめでとうございます！2016年初キャンプは『雪まるかじりツアー』！しかし、今年は気温の高い日が続いた影響で積雪が全くなく、プログラムを少し変更し、雪が降ることを祈りながらキャンプがスタートしました。尼崎駅からバスに乗り、施設へと向かいました。施設に到着する頃にはグループで話が弾み、昼食中も賑やかな声が聞こえていました。お弁当を食べ終わると、早速外へと出発しました。グループで更に仲良くなる為、名前を使ったゲームや色々な種類の鬼ごっこ、大かくれんぼなど汗をかくほど走り回りました。ゲームごとに優勝グループが変動し、予想以上に白熱しました。夜は明日のかまくらづくりにむけてイメージを膨らませました。雪以外にどんな自然がある？作りたいかまくらの形は？どのくらいの大きさ？グループの中でたくさん意見を出し、伝わりにくい所は絵で表現しながら想いを共有していました。明日はイメージしたかまくらを作ることができるかな？なんだかとてもわくわくするね！



二日目： 朝から賑やかな声が廊下に響いていました。朝食後、皆で使う道具を運び、待ちに待ったかまくらづくりが始まりました。昨日の大かくれんぼでお気に入りの場所を見つけていたグループもあり、早々に場所を決め役割に分かれていました。一本の大きな木の枝分かれ部分を上手く利用し、もたれかけるように拾ってきた枝を組み合わせ支柱にしたり、4本の木を編んだひもで囲い柱に見立てたり、何十本もの木を丁寧にひもで縛り壁をつくったり、どのグループも異なる作り方で進めていきました。それぞれにたくさんのアイデアが盛り込まれており、考えた作り方をメンバー同士で教え合う場面が印象的でした。途中昼食をはさみ、再開し始めた頃に小雨が降り出しました。一時中断し、グループごとに休憩をとりました。その間も「雨が止むようお願いしよう。」「今のうちにどんな飾りをつくるか考えよう。」と自分達で出来ることを探し行動する姿が見られました。なんとか雨も弱まり、「ラストスパート！」と言いながら完成に向けてつくり続けました。どのグループも予定時間よりも早くかまくらが完成したので訪問タイムを設け、他のグループのかまくらに入り楽しみました。夕食後は七輪を囲み、お餅や干芋、マッシュマロを焼いて食べ、お腹も心も満たされた夜になりました。



三日目： 最終日の朝は大忙しです。荷物整理やシーツ畳みとやる事がたくさんありますが、みんなで行動することへの意識が高いメンバーが多く、自然と手伝う姿が見られました。朝食後の片付けや清掃も役割を分け、素早く終わらせ、雪合戦メンバーへのお披露目会に向け最終チェックを行いました。質問に答えたり、クイズを出したり、自慢のかまくらを思う存分紹介し、雪合戦メンバーの感想を聞きながら満面の笑みを浮かべていました。その後場所を移動し、雪合戦を体験しました。複雑なルールに少し戸惑っていましたが、ルールやコツを教えて貰い、歓声を上げながら楽しんでいました。そして最後にかまくらの前で記念撮影をし、惜しみながら解体しました。キャンプでの最後の食事中も帰りのバスを待つ間も常にグループから笑い声が聞こえ、最後まで賑やかなキャンプとなりました。



## <キャンプ総括>

今年は私自身も初めての雪のないかまくらづくりキャンプでした。人数は少なくなりましたが、一人一人の気持ちはとても強く、どんなことにも「やりたい！」とグループで声を上げ取り組まれていました。かまくらづくりではどのグループも斬新なアイデアが多く、メンバーの想像力の豊かさとそのイメージしたものを自然物だけで完成させるひらめきに驚かされるばかりでした。疲れや寒さから集中がきれる場面もありましたが、自分のこだわりが組み込まれれば一気に愛着が湧き、表情も見違えるように変わりました。イメージしたものを自分達の力でかたちにすることが出来た喜びを普段の生活でも感じられるよう、様々なことにこだわって取り組んでほしいと思います。(生本 ひろみ)